

参考資料

制電リサイクルシート（粘着付）の施工方法

ショーワグローブ株式会社

制電リサイクルシートの施工は思ったより大変であると言われる方もいらっしゃいます。しかし、コツを掴めば簡単に施工ができます。クロス貼りなどの専門業者に聞くと、誰でもできるコツがあつて、それを知れば未経験者であっても簡単に施工できると言います。ここでは、その施工方法とそのコツ（ポイント）をわかりやすくご説明します。

準備するもの



写真の左上から

- 刷毛（エッジ部がプラスチックで滑らかなもの）
- カッター（ハサミでも可）
- 洗剤（無くてよい）
- ワイパー（雑巾で良い）
できれば毛羽立ちの少ないものが良い
- バケツ（水を入れて）
- 制電リサイクルシート（粘着付）

<施工手順>

①施工予定の床面をキレイに掃除する

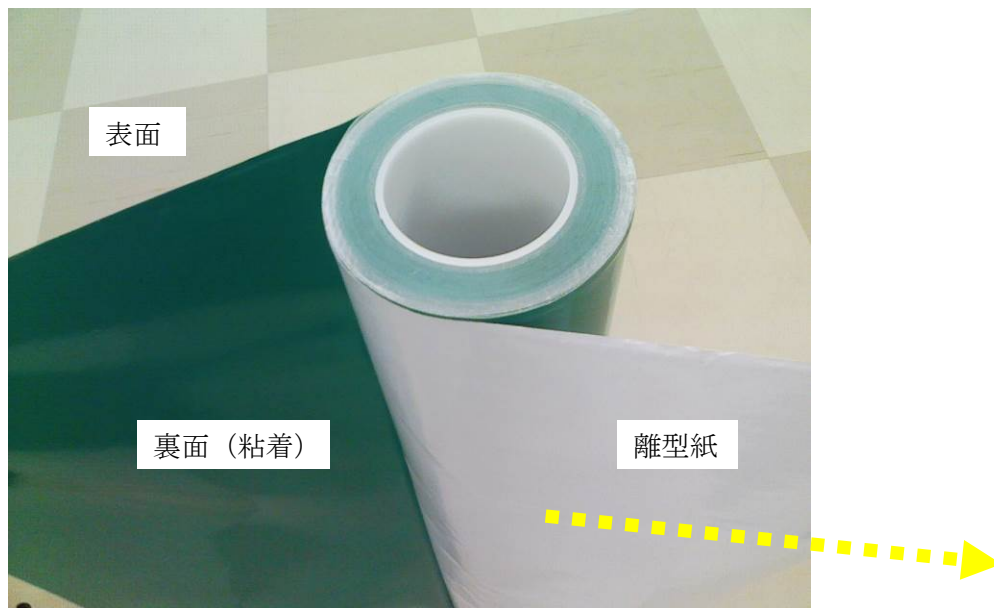
ここがポイント！

ホコリなど異物が残っていると、シート表面が凸凹になったり、気泡のもとになったり、施工中の張り直し調整によって粘着が弱まる等の可能性がある。

②シートの先端部を 50cm程度引っ張り、離型紙はがす。

ここがポイント！

そのはがした離型紙の先端を、貼っていく方向に向けておく

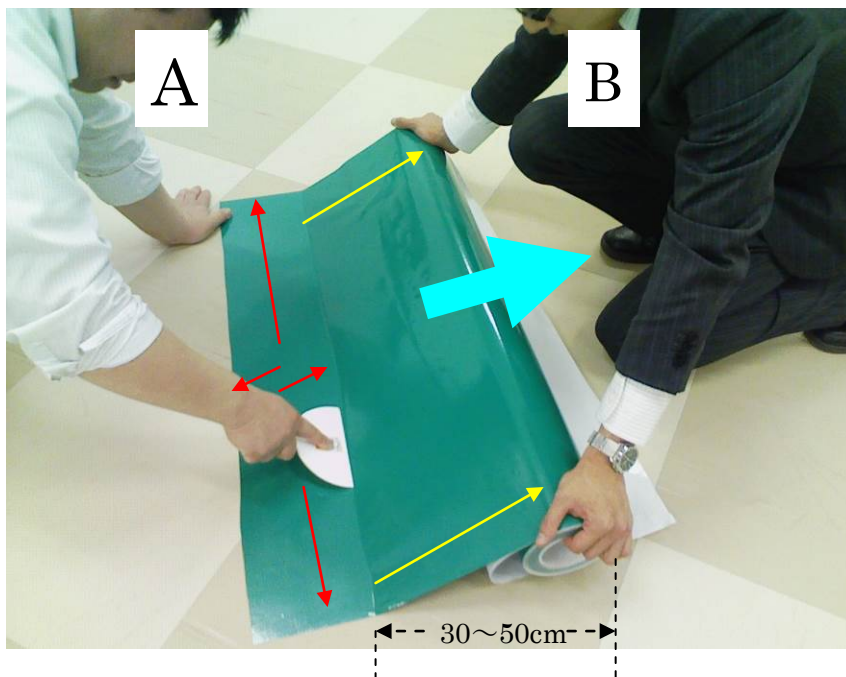


③2名で施工。1名（A）はハケをもって貼り付け、もう1名（B）はシートロールの芯を持って手前に引っ張る。Aは真ん中（赤矢印）から外側へ気泡が入らないようにハケと素手で擦るように貼り付けていく。

ここがポイント！

Bはシートロールのテンション（黄矢印）をできるだけ同一に保ち、ロールを床面に必ずつけて引っ張る。ロールが小さくなればなるほど施工しやすくなる。

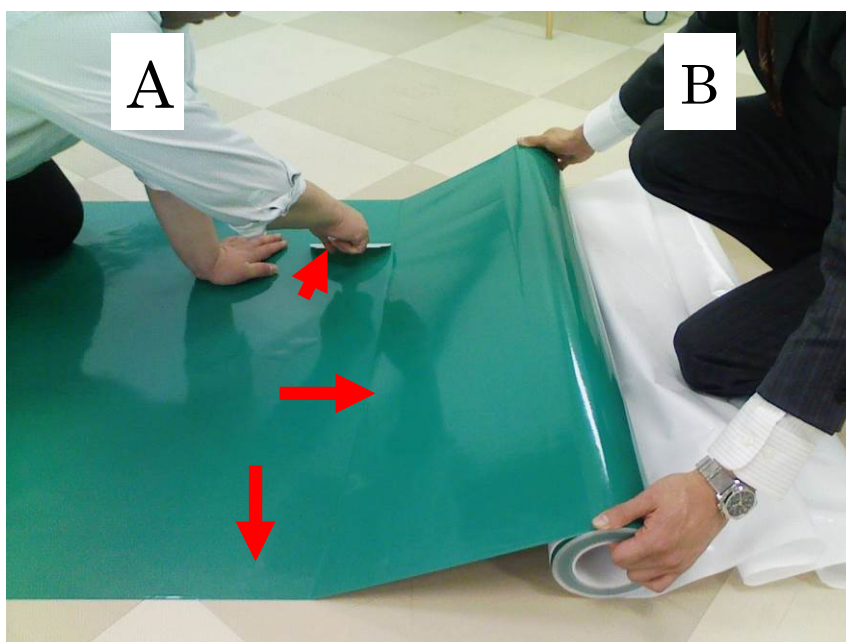
Aは中心から外へ気泡を抜いていくことで、できるだけ凹凸の少ない状態で綺麗に貼る。最初の貼る方向で全てが決まってしまうので、床に目印をつけておくの良い



④離型紙をBの方向へ引っ張りつつ、30~50cmづつ、③同様に貼り付ける

ここがポイント！

Aは手前から貼り付け方向に気泡を抜きながら貼り付けていく。また、側面は貼り付け方向とともに外側方面に向けて気泡を抜きながら貼り付けていく。



⑤気泡ができた場合は除去する

気泡はハケで端に向かって擦りつけていくと逃げるが、どうしても逃げない場合はカッター等で切れ目を入れて、指やハケで切れ目から空気を抜いていきながら、貼り付ける。

ここがポイント！

針の穴では抜けづらいため、1mm 程度の切れ目にする。気泡が大きい場合は複数ヶ所に

